



都市の産業立地を公共的空間として再生するという課題に対し、歴史性や独自性の表現、都市生態系の充実、事業としての魅力づくりをテーマとし、産業の遺産を 新しい空間資源として徹底して活用し、明治37年の創業以来企業文化を育んできたこの地を次世代に受け継ぐノリタケの森として整備しました。

## ネットワーク 明快な空間構成の構築

敷地中央に一列に並ぶ煙突群を、来場者にとっ てのエントランスゲートと位置付け、そこにロー タリーとパーキングを隣接させました。また、施 設同士をつなぐプロムナードはシンボルツリーの 認向エをJな、フルステートはシールルシリーの 並木や水路により軸を強化するなど、わかりやす く回遊できる空間構成としました。数地内の様々 な既存の要素(神社、鎖守の森、記念碑、芝生、 脱刻等)をランドスケープとして統合することで 施設全体のイメージを強化しています。





## エコロジー 都市の森の創造

限られた敷地ですが、芝生広場、大樹の樹林 限られた敷地ですが、芝生広場、大樹の樹林 溶組の蒸、ゼキトブの水辺。線木の蒸、フラワー ガーデンなどをゾーン構成し、多様な環境空間に よる都市生懸系の向上を図りました。その上で周 近緑地の生物内の戸盤、樹木密度の検討、地下水 位の対策などを踏まえて植栽計画を進めていま す。更に、風を懸じるデザインとしてススキやオー ナメントグラスを採用し、この土地のもつひとつ の風土の表現を試みました。







場所	*##	※常世
フラワーオーデン	フサアカシア、オトメッパ中等	シダレザクラ、コブシ、リョウブ等
電水ひろば	カイズカイプキ、アラカシ等	メタセコイア
中艦	ソヨゴ、シマトネリコ等	カシラ、ハナミズキ、ナシシバキ等
ケヤキひろば	アラカシ、クスノキ等	ケヤキ、カツラ、コブシザ
<b>建中场</b>	フサアカシア、キンモクセイ等	カジラ、ケヤキ、ナンキン八七等
(10年15年)	メタセコイア、シラカシ等	コプシ、ユリノキ、ナナカマド等
並木みち	タブノキ、フサアカシア等	ソメイヨシノ、アメリカフウ等
オーナメンタルグラス	メキシカンフェザーグラス	スズキ、ファウンテンフラスパ
線水の機	クロガネモチ、ツバキ等	クヌギ、コナラ、イロハモミジ等
<b>维更加</b> 周辺	シラカシ、サザンカ等	ヤマボウシ、ハンノキ、ムクノキ等



歴史遺産 ポストインダストリアルデザイン 工場の解体で現れたかつて 45mの高さを誇った煙突群をランドマークとして位置付け、歴史的な建築物と併せて地域の記憶を再現しました。煙

な延発がど外でして必必が認定の時間とも形かえ 実は100mに及ぶ様気の単下道と結ばれており、 煙道の一部を丁寧に保存し、そこに至る大きなス ローブや上部を渡るブリッジを設けることで人々 との多様な関わり方を誘発しています。また、 体の際に大量に発生した煉瓦塊はスローブの掃壁 として再利用し、その歴史的価値を表現しました。











ライフスタイル 森との関わり

ノリタケの森の豊かな自然の中で、音楽やアート、大道芸や芸術 など、人と自然と文化の出会いを楽しむ機会を創造しています。

ノリタケミュージックシーン
(ノリタケの畜を舞台とした音楽と自然のコラボレーション)
<ul><li>6月14日(土) RICO&amp;木原中子(ピアノ&amp;パイオリン)</li></ul>
・6月15日(日) ゴスベルノ (ゴスベルコーラス)
・6月28日(土) RICO&竹本稿 (ピアノ&チェロ)
・6月29日(日) 長端島間取か (トランペット、ギター、ウッドペース)
III AL TRALING

## フォローアップ 生態環境調査

都市生態系のネットワーク構築を目指して計画されたノリタケの森の緑地の効果を把握する為、整備前に揚げた目標種の出現確認調査を竣工1年後に行いました。( 印が確認された種です)







約4haの工場 一部を残し解体



1950



		PHRH	デザインの視点	(役前のデザインに比較し、優れている部分、卓越している部分に関して責体的に記述してください。)	新通 0	優性で 11番 +1	存然し ている +2	ø
A. 感性輸 (遊影)	01 容美感	*	木々の中に佇むレンガの歴史的建築、オープンな芝生、保存された産業連携など時代が疑いてきた機能美や自然の美しさの総合を目指した。			0	2	
	02間和性	*	概括学体のコンパーションにより回答を再生するとともに、都在していた推奨通信を払しい土地利用の空間シテリオとして職職し直し、産業文化の 根据としての既存構造物を大切にし、豊かな自然と企業の文化のアイデンティティを確立した。			0	2	
	03強創性	*	金ての建造物は産業文化の表れとして投え既存構貨物の確認した利用を図り、特に地下のレンガの理迹の解体がつき、それに至る機関に使用し新しい表現を試みた。			0	2	
1	Form	04条微性	*	コンクリートの歴史は高度成長節の産業活力のシンボルであり、それを人口のアプローチ空間や広場と関係させながら印象的な景観を構築した。			0	2
		05完成度	*	自然の再生と企業文化の発現、新しい情報発徳の拠点として、建築保存とコンパージョン、ランドスケーブとの融合と調和者実現した。			0	2
B. 极新数	06模能性	*	既存建築のコンパージョンに即し、耐震補強をしながら、「見せる工場」としての機能を進及した。			0	2	
	07効率性		徹底した気存構造物の利用がテーマであり、配送センケーの大統をカフェのテラスに転用するなどの工夫を行った。		0			
•		00科便性	*	「見せる工場」としての立体動誌に配慮し、EVなどの設置など利用者の視点で整備した。			0	2
		00安全性	*	既存建物の耐震補強やレンガに仕上げとして施されていたモルクルの丁寧なハツリなど、一般利用に罪して誰心の注意を払った。			0	2
		10大導性		レンガガラの強性、撤席した構築物の保存など新しい産業文化の表現のありかたを追求した。			0	2
C. 社会額 (理博)	c	11環境負荷	*	都市市折地に大きな緑を創出し、クールスポットとしてヒートアイランドの緩和につながっている。			0	2
		12资源消费	*	撤店した奴件構造物の利用、コンクリートガラの跡盤材利用、レンガガラの機型、舗装材への利用により、資源の撤店した両利用を図った。			0	2
	13地域環境性	*	地域の自然植生を重視した植栽計画を行い、竣工後の生物調査により、周辺線地とのピオトーブネットワーク形成が構築できていることを確認した。			0	2	
	Environment	142これーサル性	*	サイン計画や誘導プロックなど基本的なコニパーサルデザインに配慮するとともに、地域に関われた施設としてオープンで利用しやすい計画とした。			0	2
		15次退性	*	郷土の自然を再生しながら、企業の遺産を撤店して保存し、一般に開放するポストイングストリー時代の新しい登録のありかたを示した。			0	2
D. 经济翰 (LCC) Life Cycle Cost	16(25)(632)	*	撤艦した既存機能物の利用により、イニシャルコストを低減した。			0	2	
	D. SXCKBA	1752こングコスト	*	工場で余っている工業用水をビオトーブの水に使うことで、通常の水処理のエネルギーや管理コストを抑えた。		0		1
		10維持管理	*	郷土種を中心とした機能を基本とし、血性能形で大きく育つ師を計画し、肉定など多計な管理が必要ない計画とした。			0	1
	15副久性		過去の100年の歴史を継承しながら、将来の100年を見讃えた計画とし、構造物の持つ耐久性を最大限生かした。		0			

